

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

## 製品情報

製品名 ビルダーフェルテラチェスG T粒剤

## 会社情報

会社名 Meiji Seika ファルマ株式会社  
 担当部署 生物産業プロジェクト推進部  
 住所 〒104-8002 東京都中央区京橋二丁目4番16号  
 電話番号 03-3273-3433  
 Fax 番号 03-3271-1460  
 緊急時連絡電話番号  
 (休日、夜間など) 中毒110番  
 <一般市民専用無料電話>  
 大阪中毒110番(365日24時間対応)  
 072-727-2499 (情報提供料:無料)  
 つくば中毒110番(365日9時~21時対応)  
 029-852-9999 (情報提供料:無料)  
 <医療機関専用有料電話>  
 大阪中毒110番(365日24時間対応)  
 072-726-9923 (1件につき2,000円)  
 つくば中毒110番(365日9時~21時対応)  
 029-851-9999 (1件につき2,000円)  
 医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、  
 情報料1件につき2,000円が徴収されます。

推奨用途及び使用上の制限 農薬登録範囲外の使用は不可。(農業用殺虫殺菌剤)

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外	
	急性毒性(経皮)	区分外	
	皮膚腐食性/刺激性	区分外	
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外	
	皮膚感作性	区分外	
	生殖細胞変異原性	区分2	
	発がん性	区分1A	
	特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系 腎臓 免疫系)	
	環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
		水生環境有害性(長期間)	区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険有害性情報	危険 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれ 長期的又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓、免疫系の障害 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
注意書き 【安全対策】	使用前に取扱説明書を入手すること すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと 粉じんを吸入しないこと 取扱い後はよく手を洗うこと この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと 環境への放出をさけること 保護手袋を着用すること
【応急措置】 ばく露又はその懸念がある場合	医師の手当、診断を受けること 気分が悪い時は、医師の手当、診断を受けること 特別な処置が必要である
漏出した場合	漏出物は回収すること
【保管】	施錠して保管すること
【廃棄】	内容物や容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること

---

### 3. 組成及び成分情報

---

化学物質・混合物の区別	混合物
一般名	クロラントラニリプロール・ピメトロジン・チフルザミド・プロベナゾール粒剤
有効成分の化学名又は一般名	<p>クロラントラニリプロール (Chlorantraniliprole) 3-ブ<sup>o</sup>ロモ-N-[4-クロロ-2-メチル-6-(メチルカルバ<sup>o</sup>モイル)フェニル]-1-(3-クロピ<sup>o</sup>リジ<sup>o</sup>ン-2-イル)-1<i>H</i>-ピ<sup>o</sup>ラゾ<sup>o</sup>ール-5-カルボ<sup>o</sup>キサミド<sup>o</sup> C<sub>18</sub>H<sub>14</sub>BrCl<sub>2</sub>N<sub>5</sub>O<sub>2</sub> (分子量: 483.15)</p> <p>ピメトロジン (Pymetrozine) (<i>E</i>)-4,5-ジ<sup>o</sup>ヒト<sup>o</sup>ロ-6-メチル-4-(3-ピ<sup>o</sup>リジ<sup>o</sup>ルメチレンアミノ)-1,2,4-トリアジ<sup>o</sup>ン-3(2<i>H</i>)-オン C<sub>10</sub>H<sub>11</sub>N<sub>5</sub>O (分子量: 217.23)</p> <p>チフルザミド (Thifluzamide) 2',6'-ジ<sup>o</sup>ブ<sup>o</sup>ロモ-2-メチル-4'-トリフルオロメトキシ-4-トリフルオロメチル-1,3-チアゾ<sup>o</sup>ール-5-カルボ<sup>o</sup>キシアニリト<sup>o</sup> C<sub>13</sub>H<sub>6</sub>Br<sub>2</sub>F<sub>6</sub>N<sub>2</sub>O<sub>2</sub>S (分子量: 528.06)</p> <p>プロベナゾール (Probenazole) 3-アリルオキシ-1,2-ベンゾ<sup>o</sup>イソチアゾ<sup>o</sup>ール-1,1-ジ<sup>o</sup>オキシト<sup>o</sup> C<sub>10</sub>H<sub>9</sub>NO<sub>3</sub>S (分子量: 223.25)</p>

化学名又は一般名	含有量 (%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
クロラントラニリプロール	0.75	500008-45-7	-	8-(1)-3379
ピメトロジン	3.0	123312-89-0	-	8-(3)-912
チフルザミド	3.0	130000-40-7	-	8-(7)-1199
プロベナゾール	10	27605-76-1	(5)-3433	(5)-3433
(非晶質シリカ)	(10-20)	112926-00-8	(1)-548	(1)-548
(石英)	(50-60)	14808-60-7	(1)-548	(1)-548
鉍物質微粉等	83.25			

#### 4. 応急措置

##### ばく露経路による応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる 気分が悪いときは医師の診断を受ける
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸でよく洗う 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の手当、診断を受ける
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける 眼の刺激が続く場合は、医師の手当、診断を受ける
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡する。口をすすぐ

##### 応急措置をする者の保護

ばく露による二次災害の防止

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状水など
使ってはならない消火剤	火災が周囲に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水をさける
特有の危険有害性	火災時に有害ガスが発生するおそれがある
特有の消火方法	消火作業は風上から行う 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する 周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う
消火を行う者の保護	消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う 漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の
-----------------------	---

立入を禁止する  
 作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入をさける

<b>環境に対する注意事項</b>	河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する
<b>封じ込め及び浄化の方法及び機材</b>	少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する 大量の場合は、漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて、紙袋又はドラム缶等に回収する 回収後の少量の残留物は土砂またはおがくず等に吸収させる
<b>二次災害の防止策</b>	すべての発火源を速やかに取り除く。（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

技術的対策	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する
安全取扱注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する
接触回避	「10.安全性及び反応性」を参照
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと 取り扱い後は手足・顔などを石けんでよく洗い、洗眼、うがいをすること 作業衣を家に持ち帰ってはならない

### 保管

安全な保管条件	冷所、換気の良い場所で保管すること 容器を密閉して保管すること
安全な容器包装材料	国際輸送法規で規定されている容器を使用する

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

---

<b>管理濃度</b>	$E = 3.0 / (1.19Q + 1)$ 鉍物性粉じん $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$ E：管理濃度(mg/m <sup>3</sup> )、Q：遊離ケイ酸含有率(%)
<b>許容濃度</b>	
日本産業衛生学会	吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m <sup>3</sup>
ACGIH	吸入性結晶質シリカ TWA 0.025 mg/m <sup>3</sup>
<b>設備対策</b>	取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所換気装置を使用する 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する

**適切な保護具**

呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴

**9. 物理的及び化学的性質****物理的及び化学的性質の基本情報**

外観（物理化学的状态、形状、色など）	類白色細粒
臭い	データなし
pH	5.7（×5）
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
燃焼又は爆発範囲の下限・上限	データなし
蒸気圧	データなし
比重（密度）	1.03（見かけ比重）
自然発火温度	データなし

**10. 安定性及び反応性**

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の貯蔵・取扱い条件（常温）では安定
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある
混触危険物質	強酸化性物質
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない 加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある

**11. 有害性情報****製品の毒性情報**

急性経口毒性	ラット LD <sub>50</sub> 雌 LD <sub>50</sub> > 2,000 mg/kg
急性経皮毒性	ラット LD <sub>50</sub> 雌雄 LD <sub>50</sub> > 2,000 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	ウサギ：刺激性なし
眼の重篤な損傷性・刺激性	ウサギ：軽度の刺激性
皮膚感作性	モルモット：陰性
生殖細胞変異原性	混合物は区分2の結晶質シリカを1%以上含有し、混合物としては区分2に該当する。
発がん性	混合物は区分1Aの結晶質シリカを0.1%以上含有し、混合物

生殖毒性	としては区分1 Aに該当する。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	混合物は区分1 (呼吸器系、腎臓、免疫系) の結晶質シリカを10%以上含有し、混合物としては区分1 (呼吸器系、腎臓、免疫系) に該当する
	データなし

## 12. 環境影響情報

### 製品の環境影響情報

急性生態毒性	魚類 (コイ)	急性 LC <sub>50</sub>	150 mg/L(96 時間)
	オオミジンコ	急性遊泳阻害 EC <sub>50</sub>	0.0052 mg/L(48 時間)
	藻類	生長阻害 ErC <sub>50</sub>	220 mg/L(0~72 時間)

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄に当っては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと
汚染容器及び包装	容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

陸上輸送 (ADR/RID の規定に従う)

国連番号	3077
品名	環境有害物質 (固体)、N.O.S.
国連危険物分類	クラス 9
副次危険性	-
容器等級	III

海上輸送 (IMO の規定に従う)

国連番号	3077
品名	環境有害物質 (固体)、N.O.S.
国連危険物分類	クラス 9
副次危険性	-
容器等級	III
海洋汚染物質	該当する
MARPOL	該当しない

航空輸送 (ICAO/IATA の規定に従う)

国連番号	3077
品名	環境有害物質 (固体)、N.O.S.
国連危険物分類	クラス 9
副次危険性	-
容器等級	III

**国内規制**

陸上規制情報	道路法の規定に従った容器・包装・表示、積載・輸送方法により輸送する。
海上規制情報	国際規制に準ずる 船舶安全法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。
航空規制情報	国際規制に準ずる 航空法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。

**緊急時応急措置指針** 171  
(容器イエローカード) 番号

**特別の安全対策** 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う

**15. 適用法令****本製品に適用される法規制**

農薬取締法	適用(農林水産省登録第23849号)
労働安全衛生法	表示対象物 シリカ 通知対象物 シリカ
船舶安全法	有害性物質
航空法	その他の有害物件

**16. その他の情報**

引用文献	自社データ 国際連合 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)
------	--

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。なお、注意事項等については通常の手続きを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。